



Cisco Unified Communications Manager での Cisco ヘッドセット 700 シリーズ管理

- [ヘッドセット管理の概要 \(1 ページ\)](#)
- [ワークフロー: ヘッドセットの有用性の設定 \(2 ページ\)](#)
- [シスコヘッドセットサービスを有効化する \(3 ページ\)](#)
- [ヘッドセット COP ファイルを準備する \(3 ページ\)](#)
- [ヘッドセットユーザ用のユーザプロファイルの設定 \(5 ページ\)](#)
- [エンドユーザにユーザプロファイルを適用する \(6 ページ\)](#)
- [ファームウェア管理 \(6 ページ\)](#)
- [ヘッドセットテンプレート管理 \(7 ページ\)](#)
- [ヘッドセットインベントリの管理 \(11 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager でのヘッドセット向け Cisco Unified IP 電話の構成 \(14 ページ\)](#)

ヘッドセット管理の概要

この章では、Cisco ヘッドセット 700 シリーズをユーザにすでに導入していることを前提としています。ヘッドセットの導入の詳細については、「[Cisco ヘッドセット 700 シリーズについて](#)」を参照してください。

- 側音やノイズキャンセレーションなどのデフォルト設定をリモートで設定します。
- ヘッドセットのファームウェアを定義および制御します。
- 展開内のすべてのヘッドセットの詳細なインベントリを取得します。



(注) これらの機能は、Cisco ヘッドセット 730 USB ケーブルでのみ使用できます。

ワークフロー: ヘッドセットの有用性の設定

次のワークフローを使用して、Cisco ヘッドセットの有用性機能のセットアップをガイドします。

このワークフローを完了すると、ヘッドセット設定の構成、ヘッドセット最新ファームウェアロードの保持、ユーザへのヘッドセットの関連付け、ヘッドセットベースのExtension Mobilityの有効化、およびインベントリの保守を行うことができます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	シスコヘッドセットサービスを有効化する (3 ページ)	シスコの統合された有用性でシスコヘッドセットサービスをオンにします。
ステップ 2	ヘッドセット COP ファイルを準備する (3 ページ)	COP ファイルを使用して、最新のヘッドセットファームウェアをインストールしてアップグレードしていることを確認してください。
ステップ 3	ヘッドセットユーザ用のユーザプロファイルの設定 (5 ページ)	ユーザのユーザプロファイルがまだ設定されていない場合は、次の手順を使用してプロファイルを設定します。ユーザプロファイルがすべて設定されている場合は、このタスクをスキップできます。
ステップ 4	エンドユーザにユーザプロファイルを適用する (6 ページ)	ユーザプロファイルをエンドユーザに割り当てます。すでにユーザプロファイルが割り当てられている場合は、このタスクをスキップできます。
ステップ 5	ヘッドセットテンプレートの設定 (10 ページ)	Cisco ヘッドセットテンプレートのデフォルト設定とファームウェアを設定します。そのユーザプロファイルを使用しているユーザがこのヘッドセットテンプレートに割り当てられるように、ユーザプロファイルをテンプレートに関連付けます。
ステップ 6	ヘッドセットインベントリの表示 (13 ページ)	Cisco Unified CM インターフェイスを使用して、展開したヘッドセットインベントリを確認できることを確認します。

シスコヘッドセットサービスを有効化する

Cisco Unified CM Administration インターフェイスを使用して Cisco ヘッドセットとアクセサリの管理を開始する前に、Cisco Unified Communications Manager の有用性をオンにします。



- (注) Cisco ヘッドセットサービスは、Cisco CallManager サービスがすでに実行されているすべてのユニファイドコミュニケーションマネージャノードでアクティブにする必要があります。Cisco Unified CM の管理インターフェイスを使用して、ヘッドセットを管理するユニファイドコミュニケーションマネージャノードで Cisco ヘッドセットのサービスをアクティブにしてください。Cisco ヘッドセットサービスを有効にすると、Cisco CallManager サービスは自動的にアクティブになります。不要な場合は、Cisco CallManager サービスを非アクティブにします。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理から、**Cisco ユニファイドサービス**に移動し、[Go] をクリックします。
- ステップ 2** [ツール (Tools)] > [サービスのアクティベーション (Service Activation)] を選択します。
- ステップ 3** [CM サービス (CM Services)] セクションから**Cisco ヘッドセットサービス**のチェックボックスをオンにし、[保存 (Save)] を選択します。

次のタスク

ヘッドセット COP ファイルを準備します。

ヘッドセット COP ファイルを準備する

COP ファイルを使用して、最新のヘッドセットファームウェアをインストールしてアップグレードすることができます。ヘッドセット COP ファイルには、それぞれの設定データとともに、さまざまなヘッドセットモデルのすべてのファームウェアバージョンが含まれています。



- (注) COP ファイルがインストールされる前に、Cisco ヘッドセットサービスが稼働していることを確認します。
- ヘッドセット COP ファイルが、ユニファイドコミュニケーションマネージャのすべてのノードにインストールされていることを確認します。
- 1.** Cisco ヘッドセットの使用を開始する前に、COP ファイルをユニファイドコミュニケーションマネージャシステムにインストールまたはアップグレードします。

ヘッドセットをエンドポイントに接続すると、ヘッドセットのテンプレート設定変更が適用されます。ユニファイドコミュニケーションマネージャのヘッドセットのテンプレート設定を更新すると、エンドポイントは接続されたヘッドセットにこれらの設定更新を適用します。

すべての設定の更新は、COP ファイル内のヘッドセットテンプレートのバージョンによって異なります。ヘッドセットのテンプレートのバージョンが最新の COP ファイルよりも大きい場合は、ユニファイドコミュニケーションマネージャのコンフィギュレーションファイルが更新されます。COP ファイル内のコンフィギュレーションファイルがアップグレードされると、テンプレートのバージョンに関係なく、ユニファイドコミュニケーションマネージャのヘッドセットのテンプレートのバージョンが更新されます。その逆も同様です。次のリストは、COP ファイルのアップグレード後のさまざまなテンプレートバージョンの更新シナリオを示しています。

- 現在、ユニファイドコミュニケーションマネージャがヘッドセットのテンプレートバージョン1-10 とともにインストールされていて、ヘッドセットのテンプレートバージョン1-12のユニファイド **Communications Manager** サーバをアップグレードする場合、選択したヘッドセットのテンプレートのバージョンは1-12 になります。Unified Communications Manager は、より高いヘッドセットのテンプレートバージョンを選択します。
- 現在、ユニファイドコミュニケーションマネージャがヘッドセットのテンプレートバージョン1-10 とともにインストールされていて、ヘッドセットのテンプレートバージョン1-9のユニファイド **Communications Manager** サーバをアップグレードする場合、選択したヘッドセットのテンプレートのバージョンは1-10 になります。Unified Communications Manager は、より高いヘッドセットのテンプレートバージョンを選択します。
- 現在、ユニファイドコミュニケーションマネージャがヘッドセットのテンプレートバージョン1-10 でインストールされており、ヘッドセットのテンプレートバージョン1-12 の COP ファイルをインストールすると、選択したヘッドセットのテンプレートのバージョンは1-12 になります。COP ファイルと一緒にインストールされるヘッドセットのテンプレートが推奨オプションです。
- 現在、ユニファイドコミュニケーションマネージャがヘッドセットとテンプレートバージョン1-10 でインストールされており、ヘッドセットのテンプレートバージョン1-9 の COP ファイルをインストールすると、選択したヘッドセットのテンプレートのバージョンは1-9 になります。COP ファイルと一緒にインストールされるヘッドセットのテンプレートが推奨オプションです。
- ヘッドセットのテンプレートバージョン1-12 を搭載した COP ファイルがインストールされていて、ヘッドセットのテンプレートバージョン1-10 を使用しているユニファイドコミュニケーションマネージャサーバをアップグレードした場合、選択したヘッドセットのテンプレートのバージョンは1-12 になります。Unified Communications Manager は、より高いヘッドセットのテンプレートバージョンを選択します。

ヘッドセットユーザ用のユーザプロファイルの設定

ユーザのユーザプロファイルがまだ設定されていない場合は、次の手順を使用してプロファイルを設定します。ヘッドセットテンプレートは、ユーザプロファイルを使用してユーザに割り当てられます。すでにユーザプロファイルが設定されている場合は、このタスクをスキップできます。



- (注) 導入要件に応じて異なるユーザのグループに複数のユーザプロファイルを構成します。デフォルトでは、すべてのユーザプロファイルがシステムのデフォルトヘッドセットテンプレートに割り当てられます。ヘッドセットのテンプレートを設定する場合は、カスタマイズされたテンプレートに割り当てることができます。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] > [ユーザプロファイル (User Profile)] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** ユーザプロファイルの [名前 (Name)] および [説明 (Description)] を入力します。
- ステップ 4** [ユニバーサルデバイステンプレート (Universal Device Template)] を、ユーザの [デスクフォン (Desk Phones)]、[モバイルおよびデスクトップデバイス (Mobile and Desktop Devices)]、および [リモート接続先/デバイスプロファイル (Remote Destination/Device Profiles)] に割り当てます。
- ステップ 5** [ユニバーサル回線テンプレート (Universal Line Template)] をこのユーザプロファイルのユーザの電話回線に適用するために割り当てます。
- ステップ 6** このユーザプロファイルのユーザに自分の電話をプロビジョニングするセルフプロビジョニング機能の使用を許可するには、次の手順を実行します
 - a) [エンドユーザに自分の電話のプロビジョニングを許可 (Allow End User to Provision their own phones)] チェックボックスをオンにします。
 - b) [エンドユーザのプロビジョニングする電話数を制限 (Limit Provisioning once End User has this many phones)] フィールドに、ユーザがプロビジョニングできる電話の最大数を入力します。最大値は 20 です。
- ステップ 7** [保存 (Save)] をクリックします。

エンドユーザにユーザ プロファイルを適用する

作成したユーザプロファイルにユーザを関連付ける。このユーザプロファイルはエンドユーザに関連付けられている必要があり、ヘッドセットとテンプレート構成の変更を適用するには、デバイスの MAC を制御されたデバイスの下に追加する必要があります。



- (注) すべてのユーザがすでにユーザプロファイルに割り当てられている場合は、このタスクをスキップできます。

手順

ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager のデータベースに新しいエンドユーザを手動で追加するには、次の手順を使用します。

- [Cisco Unified CM Administration] で、[ユーザの管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] の順に選択します。
- [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ユーザのユーザIDと苗字を入力します。
- ドロップダウンリストから[ユーザランク (User Rank)]を選択します。
- [エンドユーザ設定 (End User Configuration)] ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドの説明については、オンラインヘルプを参照してください。
- [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 2 エンドユーザをデバイスに関連付けるには、次の手順を実行します。

- [Cisco Unified CM Administration] で、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] の順に選択します。
- Cisco IP 電話 またはデバイスを選択します。
- [Device Information] の下で、オーナーとして [user] を選択し、[owner user ID] を選択します。
- 設定の変更を有効にするには、[Save And Apply Config] をクリックします。

ファームウェア管理

ユニファイドコミュニケーションマネージャに接続されているほとんどの電話機およびデバイスは、Cisco ヘッドセット500シリーズおよび Cisco ヘッドセット700シリーズをサポートしています。ヘッドセットを電話機に接続する前に、最新の電話機のファームウェアリリースおよびデバイスパッケージをインストールしてください。ヘッドセットが初めて接続すると、必要なファームウェアがダウンロードされ、アップグレードプロセスが開始されます。

特定のヘッドセットモデルでは、次の2つのファームウェアオプションがサポートされています。

- **[現在のバージョンのまま (current on current version)]**: ヘッドセットを既存のファームウェアバージョンに維持する場合は、このオプションを選択します (つまり、ヘッドセットファームウェアバージョンは最新のシステムファームウェアバージョンにアップグレードされません)。
- **最新**: ヘッドセットをアップグレードまたはダウングレードするには、このオプションを選択します。選択したソフトウェアが、ヘッドセットの現在のファームウェアより古いリリースであっても、システムによってインストールおよび実行されます。

たとえば、最新版として **1-5-1-10** を選択すると、現在ヘッドセットに **1-5-1-9** または **1-5-1-11** があるかどうかに関係なく、そのファームウェアがヘッドセットにインストールされます。

ファームウェアに関する考慮事項

- 標準のヘッドセットテンプレートに割り当てられたユーザは、常に最新のヘッドセットファームウェアと設定を受信します。
- ヘッドセットテンプレート設定 (標準とカスタムの両方) に表示される設定は、すべてのヘッドセットモデルシリーズの **最新のファームウェア** に常に設定されます。

ヘッドセット テンプレート管理

Cisco IP 電話がリセットされたときに、ユーザのデフォルトのヘッドセットを設定するために、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) のユーザプロファイルにヘッドセットテンプレートを割り当てることができます。ユーザは、各自の Cisco IP 電話 から個々のヘッドセット設定を上書きすることができます。Unified CM は、次の 2 種類のヘッドセットテンプレートをサポートしています。

標準デフォルトヘッドセット構成テンプレート

これは、すべてのヘッドセットモデルの工場出荷時のデフォルト設定を含むシステムのデフォルトテンプレートです。システムにインストールされている最新のヘッドセットファームウェアでサポートされているヘッドセットの設定が含まれています。プロファイル設定を変更することはできますが、デフォルト設定は編集できません。



- (注) 標準デフォルトヘッドセット設定テンプレートが作成されるのは、**[Cisco ヘッドセット サービス (Cisco Headset Service)]** が Cisco Unified サービスアビリティでアクティブになっている場合のみです。詳細については、『*Administration Guide for Cisco Unified Communications Manager*』を参照してください。

デフォルトでは、カスタマイズしたヘッドセットテンプレートにプロファイルを関連付けられない限り、すべてのユーザプロファイルが標準ヘッドセットテンプレートに関連付けられます。カスタマイズしたテンプレートを作成するには、デフォルトのテンプレートをコピーして、パラメータを変更します。標準のデフォルトのヘッドセットテンプレートのコピーを作成して、ヘッドセットファームウェアバージョンを含むパラメータのカスタマイズされた値を使用してカスタムテンプレートを作成できます。

システムによって生成されたカスタムヘッドセットテンプレート

Cisco Unified Communications Manager リリース 12.5(1)SU1 以前は、defaultheadsetconfig.json ファイルでヘッドセットを制御していました。ただし、Unified CM Release 11.7(1)SU7 以降および 12.5(1)SU1 以降の場合、defaultheadsetconfig.json ファイルは Cisco Unified CM Administration インターフェイスの[システムによって生成されたカスタムヘッドセットテンプレート (System Generated Custom Headset Template)]の一部になっています。

カスタムヘッドセット構成テンプレート

導入のニーズに応じて、カスタマイズしたヘッドセットテンプレートを作成できます。同じテンプレート内の異なるモデルに異なるヘッドセットパラメータを割り当てることができます。別のヘッドセットモデルに異なるファームウェアロードを割り当てすることもできます。カスタムヘッドセット設定は、ユーザプロファイルをカスタムヘッドセットテンプレートに関連付けることによって、特定のユーザのセットに割り当てることができます。

ヘッドセットテンプレートの設定の詳細については、*Cisco Unified Communications Manager Administration* のオンラインヘルプのヘッドセットテンプレートの設定フィールドの説明を参照してください。

次の表で、各ヘッドセットテンプレートのパラメータについて説明します。

表 1: シスコヘッドセット 700 シリーズのパラメータ

パラメータ	範囲	デフォルト	注意
ファームウェアの送信元	UCM または Cisco Cloud からの許可 (ファームウェアはアップグレードのみ)、UCM のみに制限 (ファームウェアはアップグレードまたはダウングレード)	UCM または Cisco Cloud からの許可	ヘッドセットのファームウェアアップグレードソースを制御します。 デフォルトでは、ユーザは、ユニファイドコミュニケーションマネージャに接続されている Cisco IP 電話 または Cisco Jabber またはシスコヘッドセットはアプリケーションを使用してヘッドセットをアップグレードできます。ヘッドセットは、Unified Communications Manager のソースを使用して、ファームウェアの変更のみを受け入れるように制限できます。

パラメータ	範囲	デフォルト	注意
側音	オフ、低、中、高、 適応型	中	ヘッドセットを通してユーザが聞くことができる自声の音量を制御します。[オフ (off)] は側音をオフにしますが、 高 の場合、ユーザはヘッドセットマイクからさらに多くのフィードバックを受信します。適応型側音機能が有効になります。Adaptive 側音がアクティブな場合、ヘッドセットはユーザが話している音量に基づいて側音レベルを自動的に調整します。
アクティブ ノイズ キャンセレーション (Active Noise Cancellation)	オフ、0%–100%、 適応型	100%	ユーザーが体験するノイズキャンセレーション量を制御します。[オフ (Off)] はノイズキャンセレーションをオフにしますが、 100% の場合はユーザのノイズキャンセレーションが非常に多く 適応型 ノイズキャンセレーション機能を有効にします。適応型ノイズキャンセレーションがアクティブな場合、ヘッドセットは周囲の環境に基づいて自動的にノイズキャンセレーションを調整します。
自動ミュート (Auto Mute)	オン、オフ	オフ	Cisco ヘッドセット 730 の自動ミュート機能を制御します。自動ミュートがアクティブな場合は、ユーザがヘッドセットを取り外すと、アクティブコールが自動でミュートされます。ユーザがヘッドセットを再び装着すると、ミュートが自動でオフになります。 自動ミュートは、ファームウェアバージョン 1-6-0-150 以降のヘッドセットで使用できます。

パラメータ	範囲	デフォルト	注意
自動再生 (Auto Play)	オン、オフ	オフ	Cisco ヘッドセット 730 の自動再生機能を制御します。自動再生がアクティブな場合は、ユーザがヘッドセットを取り外すと、音楽の再生が自動で一時停止されます。ユーザがヘッドセットを再び装着すると、音楽の再生が自動でオンになります。 自動再生は、ファームウェアバージョン 1-6-0-150 以降のヘッドセットで使用できます。
自動応答 (Auto Answer)	オン、オフ	オフ	Cisco ヘッドセット 730 の自動応答機能を制御します。自動応答がアクティブな場合は、ユーザがヘッドセットを装着すると、着信コールに自動で応答できます。 自動応答は、ファームウェアバージョン 1-6-0-150 以降のヘッドセットで使用できます。

ヘッドセットテンプレートの設定

シスコヘッドセットに適用できるカスタマイズされた設定でヘッドセットテンプレートを設定するには、次の手順を使用します。カスタマイズしたテンプレートを作成するか、システム定義の標準のデフォルトのヘッドセットテンプレートを使用できます。



- (注) 標準のデフォルトのヘッドセット設定テンプレートは、システム定義のテンプレートです。標準のデフォルトのヘッドセットテンプレートに新しいユーザプロファイルを割り当てることはできませんが、テンプレートを編集することはできません。デフォルトでは、すべてのユーザプロファイルがこのテンプレートに割り当てられます。このテンプレートからユーザプロファイルの関連付けを解除するには、新しいテンプレートにプロファイルを割り当てる必要があります。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration から、[デバイス (Device)] > [ヘッドセット (Headset)] > [ヘッドセットテンプレート (Headset Template)] を選択します。
- ステップ 2** 次のいずれかを実行します。

- 既存のテンプレートを編集するには、テンプレートを選択します。
- 新しいテンプレートを作成するには、既存のテンプレートを選択し、[コピー (Copy)] をクリックします。既存の設定が新しいテンプレートに適用されます。

ステップ 3 テンプレートの [名前 (Name)] と [説明 (Description)] を追加します。

ステップ 4 [モデルとファームウェアの設定 (Model and Firmware Settings)] で、このテンプレートに適用するカスタマイズされたヘッドセット設定を割り当てます。新しい設定を追加するには、[追加 (Add)] ボタンをクリックして設定項目を指定します。

ステップ 5 上下の矢印を使用して、このテンプレートに割り当てるユーザプロファイルを、[割り当てられているユーザプロファイル (Assigned Users Profiles)] リストボックスに移動します。これらのプロファイルに割り当てられているすべてのユーザは、このヘッドセットテンプレートにも割り当てられます。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 7 デフォルトのテンプレート設定に戻すには、[デフォルトに設定 (Set to Default)] ボタンを使用します。

ステップ 8 [設定の適用 (Apply Config)] をクリックします。

標準のデフォルトヘッドセット構成テンプレートでは、以下に対して [設定の適用 (Apply Config)] ボタンが有効になります。

- 割り当てられたユーザプロファイルリストに追加したユーザが所有しているデバイス
- 名前非表示のデバイス

カスタマイズされたヘッドセット構成テンプレートでは、[割り当てられているユーザプロファイル (Assigned User Profiles)] リストに追加されたユーザが所有するデバイスに対してのみ [設定の適用 (Apply Config)] ボタンが有効になります。

ヘッドセットインベントリの管理

Cisco IP 電話は、ヘッドセットが接続状態または切断状態になるたびに、ヘッドセットインベントリデータをユニファイドコミュニケーションマネージャに送信します。ユニファイドコミュニケーションマネージャは、インベントリデータを保存するため、このサーバに展開されているすべてのヘッドセットについて、インベントリの要約レポートまたはカスタムインベントリレポートを生成できます。

レポート情報には、ヘッドセットのシリアル番号とモデル番号、ドッキングステーションの詳細、ファームウェア、使用されている設定テンプレート、ベンダーの詳細、およびデバイスへのヘッドセットの接続ステータスが含まれます。

ヘッドセットインベントリの設定

Cisco Unified CM Administration は、**デバイス > ヘッドセット > ヘッドセットインベントリ** ウィンドウを使用して、サーバ上に展開されているすべてのヘッドセットの一覧を表示します。この情報を使用して、導入されているすべてのヘッドセットのレポートを生成できます。デバイスのシリアル番号をクリックすると、個々のヘッドセットの詳細がポップアップウィンドウに表示されます。

表 2: ヘッドセットインベントリの設定

フィールド	説明
シリアル番号 (Serial Number)	<p>ヘッドセットのシリアル番号。この番号は、個々のヘッドセットごとに固有です。</p> <p>Cisco ヘッドセット 520 および 530 Series は、USB コントローラで見つかったシリアル番号をレポートします。Cisco ヘッドセット 560 および 700 Series は、左側のアームバンドの内側にあるヘッドセットのシリアル番号をレポートします。</p> <p>(注) シスコ製以外のヘッドセットの場合、デバイス名がシリアル番号として使用されます。複数の電話機で同じ非シスコヘッドセットを使用すると、重複するヘッドセットレコードが作成されます。</p>
Model	ヘッドセットのモデル番号。
ベンダー	ベンダーの詳細を表示します。
タイプ	ヘッドセット接続の種類 (有線、DECT ワイヤレス、または不明) を示します。
ファームウェア	ヘッドセットの最新のファームウェアロードを表示します。
ユーザ	電話機またはデバイスを使用するエンドユーザの情報を表示します。
テンプレート	ヘッドセット設定テンプレートの名前を表示します。
ステータス (以降)	ヘッドセットのアクティビティステータスが表示されます。接続されているか、切断されている可能性があります。
ドックモデル	ドッキングモデルステーションのタイプが表示されます。
デバイス名 (Device Name)	ヘッドセットが接続されているデバイスの名前。
Device Model	Cisco IP 電話または Cisco Jabber モデル番号を表示します。たとえば、CP-8865 は Cisco IP 電話 モデルです。CSF は、Windows 用の Cisco Jabber for Mac または Cisco Jabber のいずれかのデバイスタイプです。

フィールド	説明
ソフトウェアバージョン	使用されているソフトウェアの最新バージョンが表示されます。これは、電話機のファームウェアまたは Jabber のソフトウェアバージョンです。
ヘッドセットの経過時間 (日数)	ヘッドセットの使用年数を表示します。レコードが削除された場合は、ヘッドセットの使用年数がリセットされます。

ヘッドセット インベントリの表示

サーバに展開されているすべてのヘッドセットの完全なリストを表示できます。この情報を使用して、導入されているすべてのヘッドセットのレポートを生成できます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [ヘッドセット (Headset)] > [ヘッドセットインベントリ (Headset Inventory)] を選択します。

ステップ 2 次のいずれかを実行します。

- [検索 (Find)] を選択すると、サーバに展開されているヘッドセットの完全なリストが表示されます。
- 1つ以上の検索条件を検索ボックスに入力し、[検索 (Find)] を選択します。

ヘッドセット インベントリの概要

Cisco Unified CM Administration から、デバイス > ヘッドセット > ヘッドセットインベントリの概要ウィンドウを使用して、ヘッドセットインベントリの概要ウィンドウで導入されたヘッドセットの要約を表示することができます。

モデルごとのヘッドセット インベントリ

フィールド	説明
ヘッドセットモデル	ヘッドセットのモデル番号。
数量	導入環境内の各モデルタイプのヘッドセットの数を示します。 (注) [数量 (Quantity)] 列のリンクをクリックして、[モデルタイプ (model type)] によってフィルタリングされた詳細なヘッドセットインベントリページに移動します。

導入されたヘッドセットの集約サマリーを取得する

ステータス別ヘッドセットインベントリ

ヘッドセットモデル、アクティブ、非アクティブ、または割り当てられていない列のハイパーリンクをクリックして、各ステータスの詳細なヘッドセットインベントリページに移動します。

フィールド	説明
ヘッドセットモデル	ヘッドセットのモデル番号。
アクティブ	ヘッドセットは過去30日以内に接続されています。
非アクティブ (Inactive)	ヘッドセットが過去30日間に接続されていません。
Unassigned (未定義)	ユーザ ID がシステムに存在しないか、インベントリレコードにユーザ ID マッピングがありません。

導入されたヘッドセットの集約サマリーを取得する

[ヘッドセットインベントリの概要(ヘッドセットインベントリの概要)] ウィンドウで、展開したヘッドセットの集約サマリーを表示できます。

手順

Cisco Unified CM の管理で、[Device][ヘッドセットの>>インベントリの概要] を選択します。ヘッドセットインベントリの内訳は、モデル別またはヘッドセットステータス別に表示できます。

Cisco Unified Communications Manager でのヘッドセット向け Cisco Unified IP 電話の構成

Cisco Unified Communications Manager に接続されているほとんどの Cisco IP 電話 8800 シリーズの電話機は、Cisco ヘッドセット 700 シリーズをサポートします。ヘッドセットを電話機に接続する前に、最新の電話機のファームウェアリリースおよびデバイスパッケージをインストールすることを推奨します。ヘッドセットが初めて接続すると、必要なファームウェアがダウンロードされ、アップグレードプロセスが開始されます。

Cisco Unified Communications Manager の電話機が、ヘッドセットを使用できる構成になっていることを確認します。

次の表で、Cisco Unified Communications ManagerのCisco ヘッドセット 700 シリーズに関連する機能を制御するフィールドについて説明します。

Cisco Unified Communications Manager の Cisco IP 電話 構成フィールドすべてに関する詳細情報は、*Cisco Unified Communications Manager* の機能構成ガイドを参照してください。

表 3: Cisco Unified Communications Manager でのヘッドセットの製品固有の構成フィールド

構成フィールド名	Cisco ヘッドセット 700 シリーズ
[側面 USB ポート (Side USB Port)] (Cisco IP 電話 8851、8851NR、8861、8865、8865NRのみ)	適用可能
[背面 USB ポート (Back USB Port)] (Cisco IP 電話 8861、8865、8865NRのみ)	適用可能
[Bluetooth] (Cisco IP 電話 8845、8851、8861、8865のみ)	適用可能



(注) Bluetooth または USB アダプタで接続している場合、Cisco ヘッドセット 730 は Cisco Unified Communications Manager のインベントリに表示されません。

Cisco ヘッドセット 700 シリーズ Cisco Unified Communications Manager のパラメータ

次の表では、ヘッドセット使用にあたって構成する必要のある、製品固有の構成レイアウトページのフィールドについて説明します。

表 4: ヘッドセットの製品固有の設定フィールド

フィールド名	フィールドタイプまたは選択肢	デフォルト	説明と使用上のガイドライン
側面 USB ポート	無効 有効	有効	Cisco IP 電話 8851、8851NR、8861、8865、および 8865NR の側面にある USB ポートを使用する機能を制御します。 ユーザが USB ケーブルをヘッドセットに接続するには、側面 USB ポートまたは背面 USB ポートを有効にする必要があります。

フィールド名	フィールドタイプまたは選択肢	デフォルト	説明と使用上のガイドライン
背面USBポート (Back USB Port)	無効 有効	有効	Cisco IP 電話 8861、8865、8865NRの背面のUSBポートを使用する機能を制御します。 ユーザがUSBケーブルをヘッドセットに接続するには、側面USBポートまたは背面USBポートを有効にする必要があります。
Bluetooth	無効 有効	有効	電話機上でBluetoothオプションを有効または無効にします。無効にした場合、ユーザは電話機上でBluetoothを有効化できません。Cisco IP 電話 8845、8851、8861、および8865でサポートされています。 この機能をサポートしていない電話機では、フィールドは表示されません。

ヘッドセット用の電話機グループの設定

ヘッドセットをサポートするために、ひとつの電話機グループを設定できます。

手順

- ステップ1 Cisco Unified Communications Manager Administration に管理者としてサインインします。
- ステップ2 [デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] の順に選択します。
- ステップ3 電話機を特定します。
- ステップ4 [プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration Layout)] ペインに移動し、フィールドを設定します。
- ステップ5 変更フィールドの [エンタープライズ設定を上書き (Override Enterprise Settings)] チェックボックスを選択します。
- ステップ6 [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ7 [設定の適用 (Apply Config)] をクリックします。
- ステップ8 電話機を再起動します。

一台の電話機をヘッドセットに設定する

ヘッドセットをサポートするために、一台の電話機を構成できます。電話機のグループを設定するには、共通の電話プロファイルを使用します。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager Administration に管理者としてサインインします。
 - ステップ 2 [デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] の順に選択します
 - ステップ 3 ユーザに関連付けられた電話機を特定します。
 - ステップ 4 [プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration Layout)] ペインに移動し、フィールドを設定します。
 - ステップ 5 変更するフィールドの [エンタープライズ/共通電話機プロファイル設定を上書き (Override Enterprise/Common Phone Profile Settings)] チェックボックスを選択します。
 - ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。
 - ステップ 7 [設定の適用 (Apply Config)] をクリックします。
 - ステップ 8 電話機を再起動します。
-

■ 一台の電話機をヘッドセットに設定する